

# 金成地区 小中一貫校だより

第7号

栗原市教育委員会 教育部 教育環境推進室 平成25年2月1日発行  
TEL 42-3513 / FAX 42-3518 / E-mail : kyokan@kuriharacity.jp

平成26年4月、金成地区内5小学校と金成中学校がひとつになって新しい小中学校が誕生します

## （仮称）金成小学校の運動着が決定

新しい小学校の運動着について、金成地区小中学校の学校長、PTA代表者及び金成幼稚園保護者代表で構成する業者選定委員会において検討を進めてきた結果、運動着のデザインと作成業者が決定しました。

新しい運動着は、金成中学校の運動着をベースとしたデザインで、長袖上衣の襟は立襟、長ズボンは、ストレートパンツで色は上下とも紺色。半袖上衣は、丸襟で紺のライン入り、基調色は白となっています。半ズボンは、クォーターパンツで色は長袖、長ズボンと同色となっています。

新しい運動着への切り換えは、保護者の要望から1年先行することになりますので、平成25年度入学する小学校1年生からとなります。

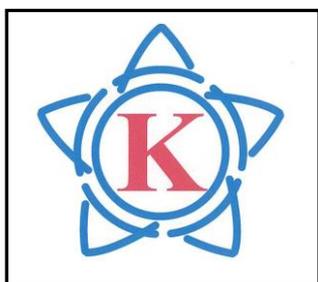
なお、現在、児童が学校で着用している運動着は、引き続き着用しても構いません。また、お兄さんやお姉さんのおさがりを着用しても構いません。

ただし、壊れたり、古くなったりして買い替える場合は、随時新しい運動着を購入していただくこととなります。

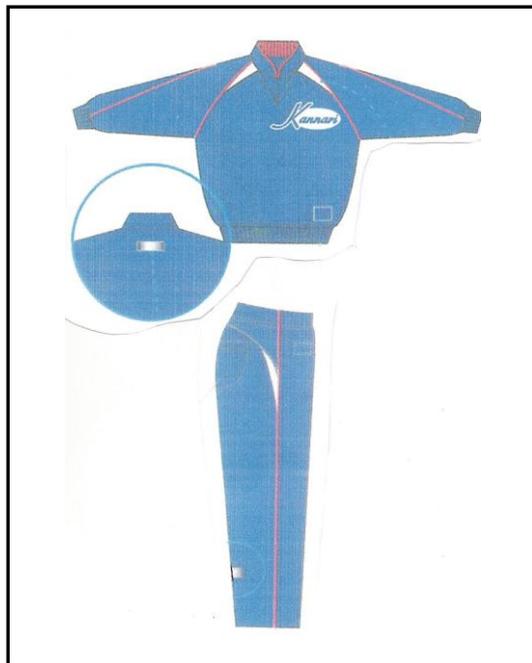
## ==校章が決定==

既に決定された校章原案の細部について準備委員会で検討した結果、下記のとおり校章が決定しました。

校章原案から変更となったのは、中心の「K」の文字が「K」に書体変更(ゴシックから明朝)となったことです。



### 【長袖・長ズボン】



### 【半袖・半ズボン】



## ==金成地区小中一貫教育校== == 基本計画 ==

栗原市で初めての小中一貫教育校となります、（仮称）金成小中学校教育の基本計画の概要をお知らせします。

内容については、裏面に記載していますのでご覧ください。

これからも、金成地区の全世帯を対象に、学校再編に関する情報をお届けしますので、よろしくお願ひします。

## 金成地区小中一貫教育校の基本計画

『知性と創造性に富み、心豊かでたくましい人間の育成』（栗原市教育方針）

### 金成地区小中一貫教育校創立の基本理念

子ども、教師、保護者、地域が一体となり、互いの声が、心が、姿が響きあう学校の創造

- ◇小中学校の校舎一体化
- ◇共通の教育目標
- ◇教育課程の一貫性
- ◇教育活動の一体性
- ◇教育環境の共有化
- ◇職員室の一体化

### (愛称)金成小中学校

小中学校の9年間を見通した、小中一貫教育を推進し、  
自ら目標を持ち、未来をたくましく生き抜く 児童・生徒の育成

確かな学力の育成  
夢と希望の実現のために！

豊かな人間性と社会性の育成  
異年齢の集団活動で！

■ 小中の6・3制を基礎として、学年を「4・3・2」の緩やかな区切りを設けて、一貫教育を進めます。

小学1年 小学2年 小学3年 小学4年 小学5年 小学6年 → 中学1年 中学2年 中学3年  
< (仮称)金成小学校 > < 金成中学校 >

#### < (愛称)金成小中学校 >

1年 2年 3年 4年 5年 6年 7年 8年 9年  
〔初等部〕 〔中等部〕 〔高等部〕  
基礎・基本の確立期 ⇒ 小中の接続充実期 ⇒ 学習成熟期

- ・児童生徒の実態に即した教育課程を編成し、連続性のある学習指導を展開し、基礎・基本の定着と確かな学力の向上を目指します。
- ・9年間の幅広い年齢差の中で、児童生徒の交流を通して社会性や思いやりの心を育てます。
- ・学校、保護者、地域の情報共有と連携を密にして、三者一体となって教育活動を進めます。

■ 5年生段階から一部教科担任制を導入します。

- ・5、6年生で一部教科担任制を実施し、7年生からの教科担任制への滑らかな接続を図り、学習意欲の向上を目指します。

■ 文部科学省に教育課程特例校の申請を行い、4年生段階から英語科を導入し、英語力向上を目指します。

- ・1年生からの英語活動、4年生から英語科を開始し、9年間を通して英語によるコミュニケーション能力の基礎を育てます。発達段階を考慮して、無理なく進めます。